

消防士 / 射水消防署 予防課

平成25年度
入庁

※随時事務処理。どの時間帯も災害出動が優先

担当している業務の内容

24時間勤務で火災や救急など各種災害に出動しています。出動がない時もポンプ車や資機材の点検、消防水利の調査、訓練等を行い、あらゆる災害にいつでも対応できるようにしています。

また、射水市の管轄には沿岸部があるので、潜水隊員として河川や海で溺れたり、水没したりした要救助者を救助できるように定期的に訓練を行っています。

仕事のやりがい

私たちが出動する災害現場は必ずしも安全な場所とは限らず、危険であり常に緊張感をもって活動しなければなりません。だからこそ日々の訓練を行うことや個々の知識や技術を高めることができます。危険な現場で活動するためには妥協や気の緩みは許されず、そこに火消しや人命救助のプロフェッショナルという誇りや責任を持って仕事ができることが消防士のやりがいであり魅力だと思います。

職場の雰囲気

訓練や現場では厳しく指導されることもありますが、危険な現場での人命救助や自分達の身を守るために活動することです。どんな現場でも先輩や上司のサポートがあるので安心して活動できます。また、勤務中ずっと緊張感のある雰囲気ということではなく、休憩中にはプライベートの話をしたり仕事とのメリハリがしっかりある職場です。

メッセージ

消防の仕事は警防や予防、防災と多岐にわたり、体力も必要で大変なイメージがあるかもしれません。しかし地域住民や家族、友人が住むまちを自分達の力で守ることができる他の職業はない、尊い職業であると思います。体力や精神力、強い正義感が求められる職業ではありますが、射水市を安心・安全なまちにするためにぜひ一緒に働きましょう。

消防士 / 射水消防署 警防課

平成28年度
入庁**担当している業務の内容**

救急係は、救急搬送を必要としている傷病者に対し、適切な処置・観察を行い、迅速に病院まで搬送します。その他にも、救命講習を通して心肺蘇生法や AED の取扱い方法などを指導しています。また、火災等の各種災害発生時も出動があります。出動がないときは、救急活動訓練や火災防御訓練、救助活動訓練に励み、活動内容の確認や隊員間の連携確認を行い、災害発生時に備えています。

仕事のやりがい

救急活動において、男性とは違った目線で、気づけることや配慮できることがあると考えています。また、女性傷病者から女性ならではのお願いをされることもなくありません。女性傷病者に抵抗感を与えることなく、安心してもらえるような活動ができたと感じたとき、女性隊員としてのやりがいを感じます。

職場の雰囲気

ほとんどが男性職員の職場ですが、困ったことがあります。上司・同僚ともに相談しやすい雰囲気があります。現場での判断や仕事内容で迷うことがあります。その都度、親身に聞いて、アドバイスをくださいます。また、男性職員同様に当直勤務をしていますが、更衣室、仮眠室、浴室は区画され、女性職員も安心して働くことができる環境が整っています。

メッセージ

私は、救急救命士の資格を取得し、消防士として勤務し始めましたが、資格を取得して採用されたからといって必ずしも救急業務に携わるとは限りません。消防士は、救急以外にも警防、予防、救助など業務内容は幅広いということを知っておいてください。また、消防士は男性の仕事というイメージが強いですが、女性にしかできない役割があると感じる場面が多くあります。男性も女性も働きがいのある仕事です。



※随時事務処理。どの時間帯も災害出動が優先